

# Alumni Voices (卒業生の声)

vol.6 Mr. Kuwada of

Panasonic



高専で基礎を固められました

<b>n</b> ame	桑田さん
<b>g</b> raduated	2005年3月 専攻科修了 学士(工学)
<b>a</b> ffiliation	パナソニック株式会社 (東証プライム上場)
<b>W</b> ork place	大阪府門真市
<b>p</b> ost	イメージングソリューション事業部 機構設計二課 課長



## ☆ 三 こんな仕事やっています



私が所属している事業部では、デジタルカメラ、交換レンズをはじめとしたイメージング商品の開発・製造・販売を行っています。

入社後 15 年間は工場技術部門で製造と設計をつなぐ工場の要となる業務を担当してきました。そのうち

5 年間はマレーシア

工場へ赴任し、現地の方と一

緒に**新製品の立ち上げ**をはじめ、品質の安定化と計画通りの出荷数量の確保に取り組みました。その後、設計部門へ異動し、包装・取扱説明書・付属品の設計開発を担当した後、現在は組織責任者としてマネジメントを行っています。製造現場

から**設計開発**まで、幅広い領域で経験を積みながら業務に取り組んでいます。



## 高専ではこれに打ち込みました ☆ 三

高専では、バンド活動とサッカーに熱中していました。実は、**vol.4** で記載されている加賀田さんと一緒に、学園祭のステージに立ったこともあります。サッカー部では、同学年のメンバーが次々と辞めていく中、最後まで残った私ともう一人でツートップを組み、最後まで頑張りました。

こうした活動を通して、多くの **仲間とともに7年間を濃く** 過ごせたことは、今でもかけがえのない思い出です。



## ☆ 三 やっぱり機械工学科

機械工学科で身につけた基礎力は、現在の仕事のあらゆる場面で生きています。専門外の分野であっても原理・原則を押さえて考えることができるため、他部門との連携もスムーズになり、業務の応用範囲が大きく広がりました。

中でも特に役立っているのが、図面を読み取る力です。形状や寸法から量産時のばらつきや品質リスクを予測し、課題の未然防止や原因解析に活用してきました。この「**図面から情報を嗅ぎ取る力**」は、機械工学科で徹底的に鍛えられた、今の自分にとって大切な武器です。



## 中学生の皆さんへ ☆≡

モノづくりは、自分が思い描いたアイデアが形になっていく、とてもワクワクする世界です。思い通りにいかないこともたくさんありますが、試行錯誤しながら一つひとつ乗り越えていく過程にこそ、大きな面白さがあります。

失敗や挫折を経験することで人は成長できます。



ぜひ、失敗を恐れずに挑戦する気持ちを大切にしてください。

## ☆≡ MEの後輩の皆さんへ

社会に出ると、一人でできることには限りがあります。周囲の協力を得ることで、初めて大きな仕事を動かすことができます。だからこそ、協調性を大切にしてください。

そして、高専で共に過ごした仲間は一生の財産です。そのつながりを大切に、ぜひこれからも育てていってください。

## これだけ言わせて ☆ 三

世の中にまだないものを生み出すのが技術者の仕事です。実は、**ミラーレスカメラ**を最初に世に出したのは**パナソニック**で、その**生みの親は高専卒**の技術者でした。高専で培った力は、社会を動かす技術につながります。ぜひ、技術を通じて社会に貢献できる人になってください。

